

文・編集・発行 / 斉藤新緑 Tel 〈0776-82-1141〉 Fax 〈0776-82-2261〉
【斉藤新緑事務所】 〒913-0046 福井県坂井市三国町北本町 2-1-20 京福三国ビル 2 F
【e-mail】 sinryoku@aurora.ocn.ne.jp
【ホームページ】 http://www.ss.apdw.jp

ほっとあいん



人に、まちに、いま、
元気の種をまこう。

VOL. 67

汝の薪をはこべ

三好達治



春逝き
夏去り
今は秋 その秋の

はやく半ばを過ぎたるかな
耳かたむけよ
耳かたむけよ
近づくものの声はあり

窓に帳帷はとざすとも
訪なう客の声はあり
落葉の上を歩みくる冬の足音

薪をはこべ
ああ汝
汝の薪をはこべ

今は秋 その秋の
一日去りまた一日去る林にい
たり
賢くも汝の薪をとりいれよ

ああ汝 汝の薪をとりいれよ
冬ちかし かなた
遠き地平を見はるかせ
いまはや冬の日はまだかに逼れり

やがて雪ふらん
汝の国に雪ふらん
きびしき冬の日のためには

炬をきれ 竈をきずけ
孤独なる 孤独なる 汝の住居を用
意せよ

薪をはこべ
ああ汝
汝の薪をはこべ

日はなおしばし野の末に
ものの花さくいまは秋
その秋の林にいたり
汝の薪をとりいれよ
ああ汝 汝の冬の用意をせよ



ラ・マンチャの男

「スペインはラ・マンチャ
のある村にひとりの男が住ん
でいた。

夜も日も明けず年がら年
中、騎士物語を夢中になつて
読んでいろうち、分別を失い、
物語を現実と思い込み、自分
も騎士になつて正義のために
身を捧げようと
決意、彼は風車を
巨人と思ひ込み、
痩せ馬ロシナン
テに跨つて、丘の
風車に向かつて
突進する。



びつくりした従
者のサンチョ・パ
ンサは必死に
なつて主人を引
き止めるが、「お前はなんて冒
険心のないやつなんだ」と
いつて風車に挑み、跳ね飛ば
されて半死半生の目にあう。

ご存知、スペインの小説家
セルバンテスが書いた「ドン・
キホーテ」。

聖書につぐベストセラーと言
われるほどの古典で、今なお
「ラ・マンチャの男」という題
でミュージカルや映画にも
なっているのは、この愉快な
話の中に、人間のあり方が、じ
つに見事に拡大されて描かれ

ているところにあるらしい。
「理想と現実」。この物語の
真骨頂は、理想に向かつて
突っ走るドン・キホーテを懸
命に引き止めながら、最後ま
でつして主人を見捨てずに
従うサンチョの姿、すなわち
現実が理想に引きずられてい
くという構図
にある。

理想をめざし
て生きる。そこ
に人生の価値
があるという
ことは言うま
でもない。が、
たいていの人
は、現実が理想
を阻むならば、多少の妥協も
やむを得ないと考える。そこ
ろがドン・キホーテは、そう
した妥協のいつさいを拒むの
だ。

けれど、現実を無視して掲
げられた理想は、意味をなさ
ぬ。そこで、サンチョの登場
となる。こうして、理想と現
実は、つねに対抗して、緊張
を生み出す。現実はずねに理
想の高飛びを制御し、同時
に、理想は現実の世界に力と
目標を与える。」

「物を失えば小さく失う、信頼
を失えば大きく失う、しかし、
“勇氣”を失えば全てを失う」
(ジョン・F・ケネディー)

お前は何をしにきたのかと
秋の風が吹く。
日暮れ、道遠し。
それでも…。



総理との懇談会（わずか30分程度の時間を奪って福井県の要望を伝える） 総理官邸にて



総理官邸にて

議長退任のぐあいさつ

議長職を終えて

昨年9月定例議会において、第91代議長に選出され、この1年間多くの皆様にご指導ご厚情を賜り、何とか任務を無事果たすことができました。ここに改めて御礼を申し上げます。

任期中には、東海・北陸ブロック議長会から全国都道府県議会議長会の副会長にも選出され、政府民主党や自民党にたいして全国都道府県議会議長会を代表して、地方六団体の要請活動などにも参加させていただくなど、大変貴重な経験も積ませていただきました。

改選期まであと半年余りであり、継続すべきという声もありました。対外的には本来はそれがスジなのかも知れませんが、1年が仲間内のルールであり、半年余でも交代していただける方がおられれば、ルールを守るのは当たり前のことです。何よりも、もとより浅学菲才

の身であり、身の丈以上の大役は、心身ともに大きな負担を強いられるもので、任期中は必死で気づきませんでした。議長を辞任した後の開放感筆舌に尽くせないもので、その面では、わが身が限界だったようで、交代いただいて、本当に有難く思っています。

さて、この一年を振り返りますと、私が議長に就任した時期は、まさに政権交代が起きた直後であり、政府が従来慣行を見直し、政治主導を模索するような状況で、政府側も不慣れで、地方自治体側としても、どう対応していいのか困惑した状況でした。

グローバル大競争時代の中で、国内では、未曾有の少子高齢化、人口減少社会、GDPの2倍に迫る債務残高、デフレ不況といった環境にあり、従来型のシステム設計の「改革」が求められてきました。

しかし、「改革」は必要でも、その手段や手法、アナウンスを間違えると混乱を招きますし、改革後の姿をイメージできないと、それによってもたらされる弊害に対応できず、改革しないほうがよかったということにもなりかねません。

「議長の1年任期は短い。せめて2年」といわれますが、この1年余で、日本の総理は2人、民主党の代表戦で小沢氏が勝利



全国議長会事務局



北信越5県議長会の民主党要請（国会議事堂内）



全国都道府県議長会役員の自民党5役要請（自民党本部）



時事通信社 田崎氏と

地方6団体代表による自民党、民主党総務部会要請（全国都道府県議長会代表として）

近畿2府8県議長会



前原大臣に新幹線要望



女子バスケ 坂井ガールズ 全国大会出場報告に来室



大津呂ダム定礎式

政権交代が起きて、地方議会においても、中央の対立構図をそのまま持ち込むような色彩の濃いものになってきました。

「地方議会に中央政党的対立構図を持ち込むな！」が、私の持論で、地方自治は中央から独立して機能すべきで、その面では中央対地方であり、執行部（知事）対議会こそが本来の構図であるべきです。

二大政党制については、多くを触れませんが、私はあまり良いとは思いません。

現在の政治状況は昭和初期から戦争に至る時期と似ているといわれています。「制度」的にみ

た共通点は、「二大政党制」だったということです。

今日、実現性のある政策の選択肢は非常に狭まっているにもかかわらず、二大政党制が機能しないと、世論の歓迎しない判断ができない。

「誰も責任を取って痛みを伴う政策を実行できず、政権が行き詰まるたびに交代して、いたずらに時間を浪費する。」「何も決められない」「ままズル行けば、本当に国が減んでしまう、そんな危機感を感じます。

地方自治は、独任性の首長と合議制の議会をもって構成されています。

議長席から、正面に、議員一人ひとりの顔を見ながら、ああ私はこういうメンバーの一員なのだと思う、横を見て、ああこういう執行部で行政が執行されているのだ、そして天井を見て、この上に国があり、世界があるのだ、としみじみと感じました。

改めてそれを認識したとき、物事がよく見えた気がしました。

武者修行時代は過ぎた。「書を捨てて街に出よう」。

「価値観の多様化」など難しい時代ですが、肩の力が抜けた議長経験者として、これからが本番。しっかりとがんばっていきたいと思います。今後とも、より一層のご指導ご鞭撻をお願い申し上げます。

9月定例会

9月定例会は、9月7日から10月4日の日程で開催され、一般会計で約94億円の補正予算を可決しました。

県内の経済状況は、全体としては、持ち直しの傾向があるものの、地場産業では依然として厳しい状況が続いています。

このため、今回の予算では、景気回復に向け、経済・雇用対策に重点を置いたものとなっています。

▼新たな雇用の創出

離職者等に対する雇用・就業機会の確保のため、その機会を新たに生み出す事業を追加して実施します。

・学生の就職支援の強化

来春卒業予定の新規学卒者の就職環境が厳しい状況となっているため、当初予算で4回予定していた就職面接会を、10月、12月に追加して開催し、就職活動を支援します。

▼設備投資の促進

新たな事業にチャレンジする中小企業に対して、借入金の利子補給を行うことにより、設備投資を後押しします。特に、県内企業に発注する設備資金を対象にすることにより、県内経済の活性化につなげます。

▼中小企業対策

・ビジネスチャンスの拡大
新技術展示商談会に参加する企

ました。

▼ふるさと商品券に続く、さらなる消費拡大策として、商工会議所や商工会が行う販売キャンペーンや、地域の逸品等を一堂に集めて販売する「ふるさと市場」の開催等を支援します。

▼子育て世帯の住まいづくりを支援

子育て中の世帯が一戸建て住宅を新築する際の住宅ローンに対して、利子補給を行います。

・知力・体力面で子どもの伸びる力を育成

子どもにとって小学校入学前の幼児期は、体力・知力の基礎をつくる大事な時期です。指導者の地域別研修会を行うとともに、園内での読み聞かせや遊び、運動を通じて体力づくりなどを支援します。

▼地場産業の振興

生産、売上ともに落ち込み、厳しい状況にある県内の漆器、和紙などの伝統的工芸品を購入し、PRに協力してもらえ、飲食店、旅館などに対して、購入費を助成して、利用拡大を図ります。

▼公共事業を増額し、安心や長寿命化対策等を前倒して実施

県内経済への影響を考え、単独公共事業を21億円増額し、昨年度を上回る規模を確保するとともに、ゼロ県債を15億円設定しました。さらに、国の追加経済対策を受けて、15億円の補助公共事業等を計上し



9月補正予算 総務部長査定の説明を受ける

補正額94億円

▼小児救急医療の充実

夜間・休日でも安心してお子さんが受診できるよう、「小児初期救急センター」を福井市休日急患センターに整備します。

▼奥越地区に特別支援学校を新設

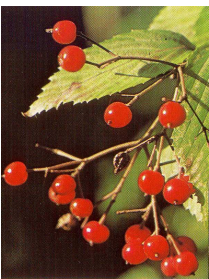
平成25年4月開校を目指す。勝山南高校の用地や施設等の一部を活用するなど、校舎の基本設計に着手します。

▼陽子線がん治療にかかる費用を助成

来年3月の治療開始を予定している陽子線がん治療センターの治療費について、全国で最も低い料金に設定します。また、治療費の軽減、嶺南地域の交通費助成などを行い、県民が治療を受けやすい環境をつくりまします。

▼フードビジネスの推進

今年6月に山形県との間で実施した農産物直売所での相互販売を、ふるさと知事ネットワーク



シカ等による複合被害が広がっていることから、金網柵よりも安価で維持管理が容易な「ネット柵」の整備を支援します。駆除についても、支援の対象となる捕獲頭数を増やします。

▼えちぜん鉄道と福井鉄道の相互乗り入れを支援



富山ライトレール（北信越議長会）

両鉄道を結ぶ田原町駅の工事内容などの概略設計を行い、事業化のための具体的な調査・検討を進めていきます。

▼中国・台湾からの観光客の誘致

外国人に人気の「温泉」や「食」を中心に、東尋坊、永平寺、三方五湖など本県の魅力ある観光資源を組み込んだ観光コースについて、中国・台湾の大手旅行会社やメディア関係者に対し、営業活動を強化します。あわせて、台北市のビルに巨大広告を実施し、福井県の知名度アップを図ります。

▼敦賀港の利用拡大

国際定期RORO船とJR貨物を組み合わせて一貫した輸送体制の推進など、敦賀港の取扱貨物量の拡大を図ります。

▼恐竜ブランドの全国への展開

記念貨幣の収益金を活用して、子どもに人気の高い恐竜の骨格複製を購入し、県外へ出張展示することで恐竜ブランドの全国への発信をさらに強化します。

▼被害が拡大する鳥獣害対策への対応

イノシシ、

▼NHK大河ドラマと連携した福井の魅力発信

来年1月からのNHK大河ドラマ「江〜姫たちの戦国〜」の放映に向けて、滋賀県等と県境を越えた連携により観光客を誘致します。また、案内板などにより県内のお江ゆかりの地を紹介するとともに観光スポットの整備を行います。



大河ドラマ「江〜姫たちの戦国〜」
福井県推進協議会キャラクター

▼低炭素化社会の実現に向けた調査

今年6月に開催されたAPECエネルギー大臣会合の福井宣言で謳われた低炭素化社会の実現に向け、クリーンエネルギーのまちづくり推進のための調査検討を行います。

▼生物多様性の保全を推進

コウノトリをふくいの自然再生のシンボルとし、定着に向けて、放鳥候補地周辺の餌環境整備を支援します。

また、企業等から資金の提供を受け、自然環境団体等の活動を支援する仕組みを新たに作ります。



三国サンセットビーチを再整備します。

が

ビーチは誰のものか

海水浴シーズンが終わって、今秋から改修工事に着手する予定の三国サンセットビーチリニューアル計画（事業費約3億円予算化済み）が、文化庁の指定する「天然記念物及び名勝」「東尋坊」区域内」ということで、形状変更を文化庁に申請したところ、

東尋坊だつて、岩場の前まで店舗が並んでいるのに、なぜ、ビーチに自然と一体となったボード・ウォーキング程度のものでダメだと規制するのか。

昭和52年から56年にかけて整備された現状のものは無許可であつたにしろ、三角形のライトアップ用のモニュメントは許可されたのか、様々な疑問が生じます。

全国的に憩いの場として利用できるビーチの賑わいを求め、観光地としての開放的な海をイメージし、各種イベント開催、同時に、飛砂、暴風対策、維持管理の費用負担軽減を図るプランを検討してきました。

維持管理費がまったく計上されていない現状を考えれば、財政が厳しい状況下で、管理しやすく、一石五鳥の役割を担うものを創造しなければなりません。

ビーチは誰のものか

文化庁（審議会）が許可する案とは何かといえば、白砂青松、つまり「敦賀の気比の松原」のようなものです。従って、黒松を植え、何十年もかけて育て、管理していくというものです。

しかし、地元民なら誰もが思うことです。東尋坊から、かけ離れたこの場所が、なぜ、東尋坊の名所・旧跡ゾーンなのか。ビーチの隣には、「ゆあ・ぽーと」があり、向こう岸には北電の煙突があり、石油タンクがある。現に

もともと三国海水浴場は、道路まで砂浜が広がっており、海が見える開放的なものでした。地元地域の防風、飛砂対策から現状の形態にしたものです。

しかし、30年余が経過した今日、耐え難い景観となっています。樹木の中に砂がたまり、さらに、樹木など維持管理上の手立てが全くなされてこなかったため、荒れ放題となっています。

現状のものが、無許可だったのなら、白紙にしても一度やり直すかといえ、元に戻すことも許可しないということでは

地元、三国サンセットビーチリニューアル協議会は、観光客に喜んでもらえるもので、地元民が日

国の規制によって、地域づくりが制限される。だから、地方のことは地方分権とは何か、格好の教材

現在、事業仕分けなど注目を浴びていますが、省庁別部局別に並んでいる事業の無駄を省くことは大事ですが、根本の省庁別の壁を取っ払わない限り、自分の庭先、自分の利益しか見えない、お役所仕事

方が任せる、その権限と財源をよこせ、というのが地方分権です。「この部分だけを法律の適用を除外せよ」、これが特別区域を求める特区申請です。

現在、地方6団体（知事会、都道府県議長会、市長会、市議会議長会、町村会、町村議長会）では、地方自治体が担う事務について、国が法令で縛り、特定の仕事をさせたり（義務付け）、一定の判断基準を守るよう強制（枠付け）することの見直しを求めています。



いっそ雑木林にしたら...

南米から見えたもの

今夏、ブラジルからの福井県への研修生受け入れ30周年の記念事業が開催されるため、訪伯団団長として、ブラジルを行いました。

おりしも、福井県で開催されたAPECエネルギー大臣会議で中心的な世話役活動をした、親交のある在日ペルー大使(カプニヤイ大使)が帰国中なので是非ペルーにも立ち寄ってこれということから、一人先発して、ニューヨーク経由リマ、サンパウロ行きという南米初体験コースになりました。

井県文化協会の志田茂夫会長のご案内で、福井村を訪問し、記念式典、レセプションでのご挨拶や交流、サンパウロ州議会訪問、開拓者慰霊碑参拝・献花など行いました。

ブラジルでは、志田会長が金津町出身、領事館は三国出身の松代領事、地元企業代表のセーレンの藤木支社長は舟津、さらに交流中にお話した志田重子さんは、「妹は三国の米ヶ脇にいます、兄貴の嫁さんは池上から来ました」というので、びっくり。地球の裏側に来ても、「議長は池上なんでしょう」で、話しかけられることが、おかしくてありませんでした。

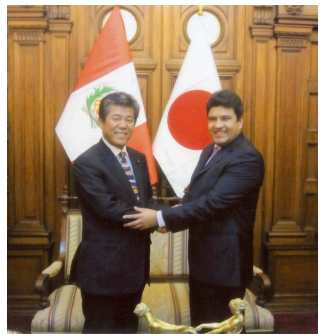
ペルーでは、日本・ペルー有効議員連盟会長で、国会議員のラファエル・ヤマシロ氏と国会議事堂で懇談しました(イカ市と福井県内市との姉妹提携を求めている)。

その後、目賀田ペルー日本大使にご招待頂き、在ペルー日本大使館で、カプニヤイ在日ペルー大使や友好協会のメンバー等と親交を深めました。天野博物館にも立ち寄り、阪根博事務局長にご案内いただきました。

ブラジルでは、在白福



阪根博さん 天野博物館



ヤマシロ会長 (ペルー国会議事堂)

日本は、F T Aなど二国間協定を結んで貿易を展開する韓国、中国に押されて、存在感がどんどん薄れているという感じです。

電気製品はほとんど韓国製。日本の「劣化」を最もドラスティックに体现しているように思えます。

最近、学生の勉強時間でも、社会人の労働時間でも、韓国が上だという報告もあります。

日本は、南米を捨てているのか？日本は、何でも食べていくのだろうか？本気で心配になった南米視察でした。

帰国後、自分の心配を目賀田大使にお礼とともにメールしたところ、早速、ご返事が返って頂きましたので、掲載させて頂きました。松代領事にもご無理を言って登場いただきました。

ペルーからの手紙



目賀田大使 ヤマシロ会長 カプニヤイ大使

斉藤藤新緑様
メールを頂き、有難うございました。お返事が遅れて誠に恐縮です。

在京カプニヤイ大使が貴県との交流に大変熱心なので、私も呼応して、ペルーとの関係についてご理解を頂きたく、近く一時帰国の折に立ち寄らせて頂く予定です。宜しくお願い申し上げます。

ご指摘の通り、韓国は大変積極的で、ペルーを中南米戦略の拠点と位置付けているような感じがします。

他方、中国も同様に活発な投資や文化活動でプレゼンスを拡大しています。

これも、ペルーが開放的な経済政策で外国投資を歓迎しており、かつ、成長率も高く政情も比較的安定していること、そして特に大変将来性にあふんだ国であるためと思われま

す。鉱物資源では、銀が世界一、銅と亜鉛が世界二位の生産量が世界二位の生産量

を誇り、金や鉛も採れます。石油や天然ガスも産出します。

また、世界有数の漁業国でもあり、トウモロコシやジャガイモの原産国として、アスパラやアルティチョーク、マンゴやコーヒの輸出国として農業資源も豊富です。

こういった豊富な食材を

背景にペルー料理が、中南米で一番おいしいと言われる

飲み物も、ピスコと言われる蒸留酒、ワイン、ビール、インカコーラという国民的なソフトラドリンク、チチャというトウモロコシから作るお酒など豊富です。

更に、インカやインカ前の遺跡、スペイン植民地時代の歴史的建造物、手つかずの自然が残されたジャングルの自然遺産、白銀に輝くアンデスの峰々等、魅力的なのは世界遺産が11か所もあります。

また、多様性に富む音楽やダンス、リヤマ、アルパカ等の独特の動物や特産品など観光資源も抜群です。特に、国土の6割がアマゾンのジャングル地帯で、生物多様性に富み、健康食品も豊富です。

例えば、自然界のバイアグラとの異名のある「マカ」、不飽和脂肪酸オメガ3を大量に含む「サッチャインチ」、ビタ



目賀田大使 カプニヤイ大使 (ペルー日本大使館)

ミンC含有量がレモンの100倍と言われる「カムカム」、免疫力を高める「ウニャ・デ・ガト」、大腸がん予防に効果があるとと言われる「紫トウモロコシ」などです。

ペルーは、既に米国、中国、カナダ等との間でF T A(自由貿易協定)を発効させ、8月末までにE Uや韓国とも交渉をまとめました。現在、日本もこれに追い付くべく経済連携協定を交渉中です。

ペルーは世界で国土が19番目に大きな国で、今後、経済成長に伴って自動車の需要が急速に伸びる事が期待されていますが、かつて7割の市場シェアを誇っていた日本車も韓国、中国に激しく追い上げられ、バイクや電気製品なども劣勢です。

他方、ペルーは、中南米で初めて日本と外交関係を築き、南米で初めて日本人が移住した国のある国で、日本や日本人に対する評価は高く、昨年もデジ

タルテレビの方式で、日本方式を率先して採択しました。10月末から日本で始まる女子バレー世界選手権にペルーも出場しますが、これもリマではデジタル放送で見ることが出来ます。折角、技術は日本のものを採用したのですが、送信機やテレビ、携帯電話など日本勢は苦戦しています。

ちなみに、ペルーの女子バレーを世界的なレベルに高めたのは、70年代から80年代にかけてペルーのナショナルチームを育てた加藤明さんと言う方の功績です。その方は、80年代半ばに急死され、その後は韓国人のコーチが引き継ぎ、今日に至っています。

是非、このような歴史的な、また、日系人を通ずる絆のあるペルーにおいて、日本企業に対し中国や韓国、E U、米国等と同じ競争条件を確保し、盛り返してくれる事を願っております。

また、リマは、日本食ブームですので、日本酒や焼酎、或いは日本のワイン等も売り込む可能性もあると考え、日本食や日本酒の紹介セミナーなどを開催しています。

是非、福井県の名産品も売り込む事ができればと思います。

次回お会いする際、そんなお話もできればと存じます。

目賀田

たとえ距離は遠くとも…

在サンパウロ日本国総領事館

領事 松代俊則

私の自宅は眼鏡橋のそばにあって、祖父や両親が三国饅頭や水羊羹などを製造・販売していました(今は残念ながら廃業してしまいましたが、現在も両親だけは同じ所に住んでいます)。

当時は少子化とは無縁でどの家庭も子たくさんでしたし、近所に同級生も多く住んでいて、小学生の頃など暇さえあれば野球(少年野球では「かもめ」チームに所属していました)をして過ごしていた、そんなことを懐かしく思い出します。

そういえば、10月10日は宿の春日祭の日でしたね。残念ながら長らく行っていないですが、子どもの頃は何とも言えずにワクワクしたものでした。御興行列の天狗?の役をやらせもらったのも今では本当に良い思い出です。



今年の宿祭り



松代領事とヤシジュース

そんな私は現在、ブラジルのサンパウロという町に家族(妻と2人の子供)と一緒に住んでいます。

サンパウロ市は南米最大の大会で、人口も2009年統計で約千百万人ですから市だけでほぼ東京都に匹敵します。また、1908年から始まった日本人のブラジル移住の歴史は既に百年を越え、その子孫である日系人の規模は、サンパウロ州内で約百万人と言われます。そのおかげで、日本の裏側にあるこの土地でも、日本の食材が買え、日本食レストランは数え切れないほどあり、また場合によっては日本語で日常の用事を済ませることが出来ます。加え



る方もいらっしゃるかも知れませんが、私を含めほとんどの日本人職員(領事)は外務省員で、民間会社で言えば海外支店に当たるような所が総

ブラジルより愛をこめて

てブラジル社会では、日本人・日系人は特に信頼に足る人々だという評価から「ジャポネース・ガランチード」と呼ばれています。

サンパウロのこうし



サンパウロ州知事



サンパウロ州議会との交談

領事館ということになります。

まさか、日本からこれほど離れた土地で、三国選出の県議会議長をお迎えすることになったのは夢にも思いませんでした。議長との三国弁での会話は、なんとも

方自治体レベルでの交流、草の根の市民レベルでの交流が非常に大事だとされているのです。



セーレン藤木支社長

(池上・舟津・宿)

ア・インド・中国の4か国の頭文字をとった略称で、これから世界経済を牽引していくと見られている新興国を指しますが、そういう意味でもブラジルとの関係はこれまで以上に重要になっていきます。

人種・歴史・文化などが違えば、当然考え方の合わない部分もあると思います。身近な人間関係でさえ難しいのですから、時折利害の対立する国と国の関係であれば尚更です。

譲れない国益は別として、そういう中でもお互いの良さを認め、お互いを理解しようとする努力で、お互いの関係が良くなることで道が開かれる場合もあります。



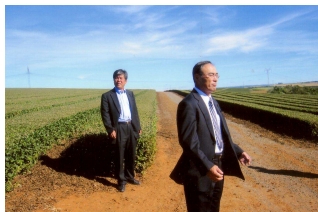
妹は米ヶ脇、兄嫁は池上から来た(旧制)志田重子さん

一外交官として、日本とブラジルの関係促進の場に加わり、少しでも貢献できればと思っています。

そのサンパウロで、私は今日日本総領事館に勤めています。「総領事館」といっても何をしているのかピンと来ない方もいらっしゃるかも知れませんが、私を含めほとんどの日本人職員(領事)は外務省員で、民間会社で言えば海外支店に当たるような所が総

去る8月、斉藤新緑・福井県議会議長一行がサンパウロを訪れた。総領事館の領事館長として、パスポートを発行したり査証を出したりという領事関係業務の他にも、当地で言えばサンパウロ州やサンパウロ市当局を始め、政治・経済・文化関係など多方面に亘って、日本とブラジルの友好関係を促進する幅広い活動を行っています。私もその一員として微力を尽くしているところです。

式典のほうは日本のような厳粛な式次第に留まらず、サンバのダンスを呼んで出席者みんなで楽しく踊るといった余興もあり、斉藤議長は額から汗を滴らせながらハッスルして踊っていて、ブラジル側の出席者からも大喝采を浴びていました。



山本山の広大なお茶園

流の場から楽しんで親交を深めること、そういう積み重ねが友好の絆を強めていくことになるのだと実感したひとときでした。

今日、ブラジルは所謂「BRICS」の一角として目覚ましい経済発展を遂げています。「BRICS」とはブラジル・ロシア・インド・中国の4か国の頭文字をとった略称で、これから世界経済を牽引していくと見られている新興国を指しますが、そういう意味でもブラジルとの関係はこれまで以上に重要になっていきます。

また、日本からこれほど離れた土地で、三国選出の県議会議長をお迎えすることになったのは夢にも思いませんでした。議長との三国弁での会話は、なんとも

方自治体レベルでの交流、草の根の市民レベルでの交流が非常に大事だとされているのです。

人種・歴史・文化などが違えば、当然考え方の合わない部分もあると思います。身近な人間関係でさえ難しいのですから、時折利害の対立する国と国の関係であれば尚更です。

また、日本からこれほど離れた土地で、三国選出の県議会議長をお迎えすることになったのは夢にも思いませんでした。議長との三国弁での会話は、なんとも



やるときはやりま

今日、ブラジルは所謂「BRICS」の一角として目覚ましい経済発展を遂げています。「BRICS」とはブラジル・ロシア・インド・中国の4か国の頭文字をとった略称で、これから世界経済を牽引していくと見られている新興国を指しますが、そういう意味でもブラジルとの関係はこれまで以上に重要になっていきます。

人種・歴史・文化などが違えば、当然考え方の合わない部分もあると思います。身近な人間関係でさえ難しいのですから、時折利害の対立する国と国の関係であれば尚更です。

星影の小径こみち

作詞…矢野 亮、
作曲…利根 一郎
歌手 ちあきなおみ

静かに 静かに
手を取り 手を取り
あなたの囁きは
アカシヤの香りよ
アイラブユー アイラブユー
いつまでも いつまでも
夢うつつ さまよいましよう
星影の小径よ



静かに 静かに
じっとしてじっとして
私は散ってゆく
アカシヤの花なの
アイラブユー アイラブユー
いつまでも いつまでも
抱かれて たたずみましよう
星影の小径よ

アイラブユー アイラブユー
いつまでも いつまでも
抱かれて たたずみましよう
星影の小径よ

新緑の気ままにトク

「あなたは最後に何を聴きたいか、あなたのラスト・ソングは何ですか、というのは、もう二十年ほど前、亡くなったハマクラさん、こと、浜口庫之助さんと話している、ふと出た話題だった。

「涙くんさよなら」「愛して愛して愛しちゃったのよ」「夜霧よ今夜もあがとう」「恋の町札幌」、みんなハマクラさんの作詞作曲である。どれも忘れられない、いい歌なのだが、何といっても、ハマクラさんのベスト・ワンは、昭和四十四年にキングの高田恭子という歌手が歌って中ぐらいにヒットした「みんな夢の中」である。」

演出家の久世光彦さんは、ハマクラさんの追悼ドラマをつくることになって、偽ハマクラがいたという話をつくった。

札幌に、女にだらしく、お金にもだらしくなく、ただ、歌が好きで好きで仕方がないという、若い男がおりました。とりわけハマクラの歌が好きで、悪いと思いがら、ハマクラの名を騙って女たちにもっていました。そんな流しのギター弾きに玉置浩二、だめな男に尽くす年上の女に、いしだあゆみ、そのあゆみに惚れている暴力団の幹部が小林薫。

「舞台は雪の札幌、タイトルは「みんな夢の中」。

うらぶれた場末のスナックで歌う、玉置とあゆみのデュエット。

恋はみじかい
夢のようなものだけど
女心は夢をみるのが好きなの
夢のくちづけ 夢の涙
喜びも悲しみもみんな夢の中

▼「議長職を終え、初恋の人も逝って、秋の空」。

長い闘病生活の中で、笑顔を絶やさず、明るくふるまってくれた同級生のいわば私の初恋の人が旅立った。

葬儀に彼女が好きだったという歌が流れた。「普天間かおる」という人が歌う「ハレルヤ」だと教えてもらった。

ラスト・ソングだと思った。
悲しみばかりを見つめていると
すべてが悲しくなる
ただぼんやりとした不安が私を
壊してしまう
ハレルヤ ハレルヤ ハレルヤ
ハレルヤ ハレルヤ ハレルヤ

もっと話すべきことがあったように思えて念が残る。

入院ベッドで、
最後にゆつくりと
振った手が、「新
ちゃん、さいな」と
言っていた。言葉
が出なかった。
見送る仲間たち



の弾く祭りの三味の音はやたら悲しくて、「泣き三味線」という言葉があることを思い出した。
塚も動け我泣声は秋の風

▼「葉落ちて天下の秋を知る」

身に沁みるのは、季節柄だけではないようだ。
都はるみに小樽運河という歌がある。



うがい薬の「イソジン」みたいで詞にならない。

あと何年かしたら六十路。それって「ゾウリムシ」みたいじゃないか。オモモモモ…。

▼タクシーに乗ったら、「今日、有賀さつきを小松空港まで送っていった」というので、何をしにきたのかと聞けば、高校に講演に来たのだという。

しかし、彼女はフジテレビの女子アナ時代、旧中仙道を「いちにちじゅうやまみち」と読んで名を馳せた人ではなかったか、高校生にどんなお話をしたのだろうか？

そういえば、歌手の村田英雄が「王将」をレコーディングしたとき、「うまれ浪花の八百八橋」の「ハッピークヤバシ」を、何度やっても「ヤオヤバシ」と歌ったようで、作詞家の西條八十が困って、作曲家の船村徹が説明しに行ったという。

「大阪は橋が多いから八百八橋なんです。八百屋の隣の橋ではないんです」。

▼「妻をめとらば曾野綾子」。
夫である三浦朱門が色紙を依頼されると決まって記すようだ。
突然、色紙など頼まれると、それ

を思い出して、言葉が浮かばない。
今年、12月1日は結婚25周年。「スイートダイヤモンド」は高いので、「妻をめとらば斉藤…」の色紙を贈るのはグッドアイデアのような気がする。

いまさら、とんだ食わせ者と一緒になったと思ひ煩うな。「琴になり下駄になるのも桐の運」。
あきらめるということも「明らかに見る」ということで大事なことだ。

「人は誰だって千々に乱れて死ぬ。身悶えしたくなるような無念もある。そんな狂乱の麻の糸を、やわらかに解きほぐし、優しく宥め、その心を静めるのが鎮魂歌（レクイエム）」。

昭和25年小畑実が歌った「星影の小路」は、日本の流行歌に「アイラブユー」というフレーズが現れた最初の曲だという。ちあきなおみのカバーで心を静めてくださいませ。

人よりも空
語よりも黙
肩に来て
人なつかしや
赤とんぼ
則天去私。

月よみの光を待ちてかへりませ
山路は栗のいがの多きに

どなた様もごゆるりと

彼一語我一語秋深みかも
五十路半ばの秋が行く日に